



# 補習校だより

平成25年度 第9号

平成25年6月1日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

校長携帯 917-521-5768

ホームページ [miamihoshuko.org](http://miamihoshuko.org)

E-mail [hoshuko@bellsouth.net](mailto:hoshuko@bellsouth.net)

## 漢字

校長 永井 晋

今週は、漢字能力検定が行われます。日本国内でも有名な検定です。補習校に通う子どもたちにとっては、学習が進めば進むほど漢字の勉強が一番の苦手になっているのではないのでしょうか。しかし、日本に帰国した後のことを考えると漢字は絶対に必要ですし、帰国しないまでも、日本語で学習を進めていくのにも漢字は必須条件です。

お隣の韓国ではどうの昔に漢字を捨ててハングル文字を開発し定着しています。ではなぜ日本では漢字を捨てず、漢字を学習し続けるのでしょうか。それは日本語を読む際に漢字を用いた方がひらがなだけの文章よりずっと簡単だからだと思います。慣れの問題かもしれませんが、ひらがなだけの文章は非常に読みにくいものです。さらに、漢字を使った文章は、その意味を理解しやすいという利点もあります。

「かれがいった」

この文章では、彼は「行った」のか「言った」のか、はたまた「逝った」のか「炒った」のか、前後の文章を読むまでは判断できません。漢字には、字そのものに意味があり、その漢字を組み合わせることで更に複雑な意味を表すことができます。このようにいろいろな利点のある漢字ですが、複雑で覚えにくいことも事実です。また、使わないと忘れてしまうのも事実です。私も手で字を書くことはほとんどなく、パソコン入力ばかりしています。そうすると漢字は「読め」ても「書け」なくなってきました。

補習校の子どもたちには辛い漢字学習でしょうが、保護者の皆様のご協力では是非頑張らせていただきたいと思います。

今回申し込みをされなかった方も、次回の「漢検」にチャレンジしてはいかがでしょうか。保護者の方のチャレンジも大歓迎です。



【先週の学年交流の様子】